

# 精神分析的病理学の基礎Ⅱ： 神経症と精神病各論

精神分析的理解に基づく精神病理学として、PAS 心理療法では、Fenichel の神経症各論と Kernberg の personality 構造論に基づいた心理査定を体系化して用いている。精神分析的精神病理学は、力動査定が基軸となり、PAS 理論でいうところのセラグノーシス（介入しながらの心理査定）が求められる。このセラグノーシスの意味と神経症から精神病に至る精神病理の各心理査定を確実にすることが講義の目的である。精神分析的精神病理学Ⅱでは、神経症から精神病の基本力動を学ぶ。

**日時：第4月曜 19:00～21:00（1クール6回）**

**2017/9/25, 10/23, 11/27, 1/22, 2/26, 3/26**

**講師：能 幸夫**

**定員：10名**

**受講料：51,840円**

## 講義内容：

1. 正常な人格構造；健康なパーソナリティとしての正常な人格構造の理解
2. 神経症①：不安障害；不安障害の精神病理；パニック障害・不安ヒステリー・外傷神経症
3. 神経症②：ヒステリー；ヒステリーの精神病理；転換ヒステリー・解離性障害・離人症
4. 神経症③：強迫神経症；強迫性障害の精神病理；強迫神経症、強迫性人格障害
5. 人格障害・境界例；境界性人格障害と自己愛人格障害の精神病理
6. 精神病の精神病理；気分障害および統合失調症スペクトラム障害の精神病理

2017年度より、PAS 心理教育研究所プロフェッショナルスクール精神分析的な心理療法本科課程の理論コースをコンパクトに再編し、本科生以外の専門家にもオープンにした。理論コースは、3年課程で、主要テーマとして『心理力動論の基礎』・『心理療法過程論』・『PAS 心理療法技法基礎』があり、それと並行して、『精神分析的発達論』・『心理力動論特別講義』・『精神分析的精神病理学』の三つから構成されてきている。目的は心理療法に関する概念定義をたしかなものにすることである。今年度は、『PAS 心理療法技法基礎』と『精神分析的精神病理学』の二つのテーマをそれぞれ4回と6回の計10回×2の20回の組み立てで開講する。4回シリーズ、6回シリーズごとに関心のある講義のみの受講も可能である

**お申込み・お問い合わせ先：PAS 心理教育研究所**

**〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 電話&FAX: 03-6407-8201**